

「特製鶏めし弁当いかが」大館産エダマメや中山ナシ おかずに

桂城小6年生考案 花善、あすから3日間販売



大館市の桂城小学校6年生が考案した特製鶏めし弁当が、11日から3日間、JR大館駅前の駅弁製造販売・花善で販売される。

地元産のエダマメや中山ナシを使ったおかずを入れ、掛け紙もデザインした。

花善との共同企画で6年目。例年は「大館アメッコ市」で売り出して伝統行事を盛り上げるが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止となったため、花善で販売する。



名称は「おいしさ金メダル！笑顔の花咲く伝統の味！桂城鶏めし弁当2022」。花善の名物駅弁「鶏めし弁当」の鶏めしに、大館市産のエダマメを入れたポテトサラダとアオサの天ぷら、中山ナシ入りの鶏シューマイ、県産ラズベリーの大福を添えた。掛け紙は秋田犬や比内地鶏などを描いた4種類を採用した。

6年生41人が昨年10月からアイデアを出し合い、おかずは10種類から絞り込んだ。容器にはプラスチックを使わず、成長の早い木材を用いて「環境に優しい弁当」を強調している。

8日に桂城小で試食した6年生は「みんなで選んだおかずなのでおいしかった」などと感想を口にし、花善の八木橋秀一社長に「栄養のバランスを考えたことをお客さんに伝えてほしい」などとお願した。

八木橋社長は「弁当の考案を小学校の思い出にしてくれればうれしい。販売を頑張る」と応じた。

1個620円で、1400個限定。販売時間は午前11時～午後6時。10日午前9時から予約も受け付ける。

予約や問い合わせは花善。☎0186・43・0870

(菊池史利)

(令和4年2月10日(木)秋田魁新聞記事より抜粋)